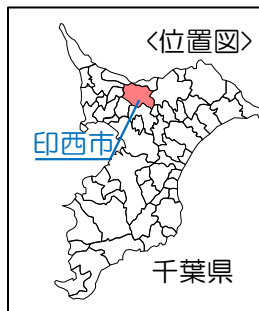


# 担い手へ結び付けた地域の取組事例 〔千葉県印西市〕

## 1. 地域農業の状況

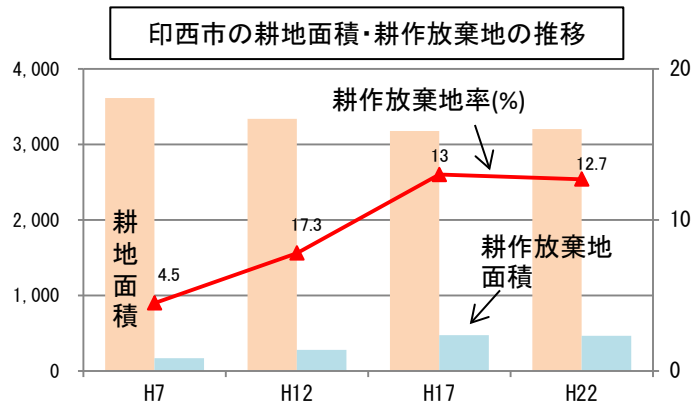
○ 印西市は、千葉県の北西部で、東京都心から約40km、千葉市から約20km、成田国際空港から約15kmに位置し、比較的温暖な気候で、平坦な台地と湖沼周辺の低地により構成され、その境には谷津と斜面緑地によって、特徴的な景観が形成され、自然環境が多く残されている地域。



○ 市内の農業は、肥沃な土壌と大消費地に近い恵まれた立地を活かし、古くから米、野菜、果樹など多品目の農産物が生産されている。

○ 一方、後継者不足などから農業を取り巻く環境は大変厳しくなっており、農業従事者数の減少や耕作放棄地の増加が深刻な問題となっている。

○ 本件の取組農地は、市の西部に位置する農業振興地域の谷津田で、耕作放棄地が一团となって形成され、廃棄物が不法投棄され、地区の農村環境に悪影響を与えていた。



## 2. 耕作放棄地再生利用の取組

|      |           |
|------|-----------|
| 取組主体 | 石尊の環境を守る会 |
| 再生面積 | 0.65ha    |
| 作付作物 | 主食用米      |

|      |                |
|------|----------------|
| 地区名  | 白幡字長作・浦部字石尊下地区 |
| 取組年次 | 平成23年～         |
| 販路   | JA系統へ出荷        |

### (1) 取組組織の立ち上げ

○ 平成22年度、耕作放棄地解消や不法投棄を減らし、地区の良好な農村環境を保全するために有志による組織「石尊の環境を守る会」を設立。

### (2) 耕作放棄地の活用

○ 平成23年度及び平成24年度に、県の耕作放棄地解消モデル事業により、地区内の耕作放棄地の状況調査（耕作放棄時期、原因、所有者の今後の意向等）の実施、再生利用計画・営農計画の検討、営農再開に向けての除草・伐採・整地作業等の保安全管理の実施。再生した農地について、担い手への結び付けのための調整を行った。

○ 平成25年度に自力施工で再生した農地を地区内の担い手へ結びつけ、担い手が水稻の作付けを行ったが、排水条件が悪いため、国交付金を活用して、暗渠排水施設を整備した。

### (3) 今後の予定

○ 地区内には、不在地主が所有する耕作放棄地が点在していることから、今後、不在地主が所有する耕作放棄地を意欲ある担い手に結び付けられるよう、関係機関と調整を図りながら耕作放棄地の解消を進めていく予定。

#### 活用した支援策

- H23～25 耕作放棄地解消モデル事業(県) (耕作放棄地調査、刈払機購入等)
- H25 耕作放棄地再生利用緊急対策交付金(国) (施設等補完整備)

